



新小だより 10月号

ぶうくん



令和元年 10月 1日 No.7
狭山市立新狭山小学校
〒350-1305
狭山市入間川 1108
Tel 04-2958-4080
Fax 04-2958-4092

児童数 男子 255名、女子 251名 計 506名 10/1 現在

子供たち 保護者 地域 教職員が一つになって作りあげた運動会

感謝の気持ちで いっぱいです

校長 紫竹理枝子

運動会の日には天気予報で90%の雨予報。何としてでも土曜日にやりたいという気持ちで、子供たち、保護者・地域の方々、教職員が一つになり午前中に全てのプログラムを終えることができました。雨が降ってきても大丈夫のように児童席にテントを張る作業を朝早くからダディーズの方々にご協力をいただきました。子供たち、教職員もテンポよく進めようとフル回転でした。片付けもPTA役員の方、保護者の方々にご協力をいただき、下校させて担任たちが戻って来た時には校庭はすっきり。また、多くの保護者、地域の方々に見守られた開会式、閉会式でしたが、しんと静まった中で行われ、最初から最後までよい緊張が続いた素晴らしい運動会となりました。本当に保護者・地域の皆様に心より感謝申し上げます。

子供たちの演技・競技。トップバッターは、新狭山小の誇り5、6年の「組体操2019ー共鳴ー」。一人一人の力が響きあって力強さとしなやかさを表現し、信頼感が作りあげた見事な組体操でした。気合の入った3、4年生の「新小ソーラン節2019」。「ソーランソーラン」の張りつめた声が轟きました。一生懸命な姿は、人を感動させます。1、2年生の楽しく元気いっぱいの「5色に咲け、パプリカ」。とびきりの笑顔が咲いていました。どの学年も一人一人の力を結集した『美しさと感動』を見ている私たちにしっかりと伝えてくれました。優勝した赤組、準優勝の青組、三位の白組。それぞれ素晴らしい団結力でした。運動会は勝負事ですから、勝ち負けはあります。勝って嬉しい気持ちや負けて悔しい気持ちは、頑張った人ほど強いはずです。頑張ってもうまくいくこともあれば、うまくいかないこともあります。しかし自分を信じて、仲間を信じて最後まであきらめず努力するその過程が大切だとこの運動会を通して学びました。全力で取り組んだ子供たちの顔は、やりきった満足感で満ち溢れていました。

各団長の言葉

白組応援団長 さん 最初皆を上手くまとめることができず不安な気持ちで一杯でしたが、白組の皆が応援団に協力してくれたから、結果が出たのです。結果は惜しくも3位でしただか、最大限の力が出せました。改めて団長をやってよかったです。これも、一緒に戦ってくれた赤・青組のお陰です。この経験を活かしていきます。一生忘れません。

青組応援団長 さん 青組の皆さんが支えてくれたので最高の運動会ができました。結果は準優勝でしたが、結果以上に学べたことがたくさんありました。6年生にとっては最後の運動会。この経験を活かして中学に向けて運動も勉強も頑張ります。

赤組応援団長 さん 私は団長になりたくて仕方ありませんでした。しかし、いざなってみると上手いはず涙を流したこともありました。そんな時支えてくれたのは赤組の皆さん、白・青の応援団長でした。優勝できましたが、対戦相手の白組・青組、先生方、応援してくれたすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

いよいよ今日から10月。年度の折り返し地点にあたります。また、一日一日自分や仲間を成長させ、お互いの成長を喜び合える新狭山小学校でありたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。